

町 の 木

暖地に自生する常緑高木で、往々非常に大形の樹となり、多数の年月を経るものがある。幹の高さは20m以上になり直径は2mになるものがある。真鶴半島自然公園内のお林には樹齢300年を超す大木がある。(クスノキ科)

く す の き



は ま ゆ う



町 の 花

常緑の多年草で主に熱帯から亜熱帯にかけて100種余りが知られているが、海岸に生育するものが多く、夏、白色の花をつける。町では岬周辺に多く自生している。(ヒガンバナ科)

町 の 鳥

ほぼ全国の海岸の岩場に留鳥としてすみ、その青と赤茶色の羽色は岩、松の枝等でよく見られる。ツツピーコー等とよい声でさえずる。(ヒタキ科ツグミ亜科)

いそひよどり



令和3年度 真鶴町教育要覧

=====真 鶴 の 教 育=====

発 行

令和3年12月

発行者及び編集者

真鶴町教育委員会

真鶴町岩 172 - 8